

産後に現れやすい注意すべき症状

悪露が多い

出血が再び起こるのは子宮に負担がかかった証拠です。退院後、ついつい無理をしていませんか？悪露が増えた時は横になって休みましょう。

休んでも増えた出血の量が変わらない、どんどん増えていく場合には受診をしましょう。

下腹部がずっと痛い

下腹部痛、40℃近い発熱、悪臭を伴う悪露といった症状が出た場合、子宮内に感染が起こったことが考えられます。

上記の症状が1つでもある場合には受診をしましょう。

予防として、こまめにトイレへ行きナプキンを交換する、シャワー浴をする、など陰部を清潔に保つことが大切です。

尿漏れ

骨盤の周りの骨盤底筋という筋肉が、出産によってダメージを受けたことで、排尿をコントロールする力が弱まっています。

産後からキーグル体操（産褥体操参照）を行っていくようにしましょう。また長時間の立ち仕事、重い荷物を持つなど下腹部に負担をかけないように過ごしましょう。

乳房が張って痛い

乳汁がたまって乳房内で細菌感染を起こすと『乳腺炎』になります。頻回に授乳をおこなうこと、授乳前後に楽になる程度搾乳を行うことが予防につながります。

40度近い発熱、乳房のしこりと痛み、乳房が腫れるなどの症状が出た時には受診をしましょう。

病院への連絡方法

診察券をご準いただき、下記にお電話ください

診察券番号・お名前・出産日・症状をお伝えください。

●079-265-5111（代表）

もしくは

●産科病棟直通電話番号へご連絡ください

